

2 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム野菊

作成日 令和 6年 2月 27日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3 28 29	地域との繋がりは感染症の状況を見ながらもっと活発に行き来を実施し入居者を施設内に“隔離”しないようにする必要がある	施設内外の出入りを拡大しふれあいの場を増やす	感染のリスクをできる限り軽減したうえで地域のボランティアや子ども達の訪問を再開したり地域の祭りに参加する	1年
2	11 18 23 31	職員同士の連携、情報共有に不足感があり“知らなかった”等が聞こえる もっと徹底していく必要がある	職員全員が情報共有をしっかりと出来て皆が均一な介助支援ができる	現在の申し送り帳の活用、ホワイトボードの活用、申し送りの徹底を行う 方法ではなく意識の向上を図る	1年
3	6 8	感染症がなかなか収まらない状況で面会や外出について“緩和してほしい”との声があり工夫が必要である	現在の通院と冠婚葬祭のみではなく 食事や旅行へ家族と外出して頂く	外出先の環境の確認（どのような場？参加人数？等）しながら外出中にも検温や帰所前には検査による陰性確認を実施する	1年
4	35	年に二回の避難訓練は実施しているが火災を想定した訓練のみであり地震や風水害を想定しての実施がない	実際に“非常時”を体験してみる	訓練で食事を“非常食”で実施する 発電機を可動させて電源を引いてみる	1年
5	36	入浴介助など同性通しで実施できたら良いと思いつながら実際出来ない	入居者の割合が女性が圧倒的に多いので完全には無理だが男性介助が苦痛と感じる女性利用者のみだけでも同性介助を実施する	職員の入浴当番と入浴予定者の調整を行い入浴頻度の問題が出ない様に工夫する	1年